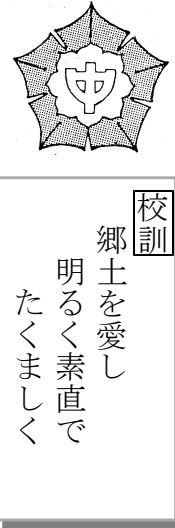


# 新にい潮しお



校訓

郷土を愛し  
明るく素直で  
たくましく

文責：校長 川内康範

「耳をすませば」を私が見ると……

先日「耳をすませば」というアニメがテレビで放送されました。皆さんは見たことがありますか？私は、以前からこの映画が好きでよく見ていました。知っている人も多いと思いますが、私の視点であらすじを紹介します。雫しずくという本好きの中学生の女の子が主人公です。彼女は自分の進路について決めることができず、思い悩んでいます。それに比べてあこがれの聖司君はヴァイオリン作りの職人になろうと決め、イタリア留学を決心します。聖司君に刺激を受けた雫は受験勉強に取り組みず、家族に心配されながらも、自分が書き始めた物語を完成させることに没頭します。物語を書き終えた雫は、自分の作品に満足できず、自分の限界に打ちのめされます。でも、自分の「今」を知り、大きな山を登りきったようにすっきりした気分にもなります。そして、改めて受験勉強に向かうと宣言するのです。

私がいいなあと思うのは、雫が物語を書くことを、家族が最初は反対しながらも、「じゃあやってみなさい。」と受け入れるところですね。たとえ満足

のいく作品が書けなくても、このことを通して雫は成長できたのだと思います。以前紹介した本『折れない心の作り方』には、次のような文章があります。

- ・人と比べて得られる安心や満足などは、本当につかの間のもので、インチキなのです。
- ・「成果」よりも「生き方」(今どんなふうに生きているか)の方が自信につながる。

- ・若くて社会経験が少ないときに、自分が本当にやりたいことなど見えていない方が普通だ。
- ・その時々が一番自然と思えることをしながら、だんだんと自分の向き・不向きは何かを見つけていこう。

人は、「何をやったか」よりも「どのようにやったか」によって人生への満足度が決まるのだと思います。めざましい業績を上げたとか、ものすごくお金を稼いだ、というような「成果」よりも、いつも誠実に仕事に取り組んでいる、関わる相手をいつも大切にしている、というような姿勢の方が、深く揺るぎない自信や折れない心、そして人生への満足感につながるのです。

私は、これらの言葉は雫の生き方を肯定し、応援していると思います。「雫、がんばれ。」という気持ちになります。

そして、中学生の皆さんにもこんな生き方を探してほしいですね。また、大人の私だって「成果」よりも「今どんなふうに生きているか」を大切にしたいと思っています。

### 【今後の予定】

- 2月 2日(木)1年生書き初め大会
- 3日(金)2・3年生書き初め大会
- 6日(月)オランダ人ダンサーによるワークショップ(1・2年生)
- 7日(火)公立高校推薦入試
- 8日(水)給食試食会・授業参観・懇談会
- 15日(水)学校保健委員会
- 17日(金)・20日(月)・21日(火)期末テスト
- 22日(水)PTA役員会・臨時保護者会
- 3月 8日(水)・9日(木)公立高校入試
- 15日(水)第12回卒業証書授与式
- 24日(金)修了式・離任式



少しずつ  
春の気配が……